



Writer / きずな大使 鳥居一頼

一人ひとりの生き方と暮らし方を大事にしたい
新しい「きずな」づくりが始まった
市民の目線で福祉の今日と明日を考える
市民のおもいを束ねていまできることを考える
子どもも大人もお年寄りも仕合わせづくりのパートナー
人を信じることで生きる根っこが太くなる
笑顔と感謝であふれる「きずな」をみんなで紡ぐまち
我が事のように福祉でまちづくりするまち
誇るわたしのまち登別 わたしも次代へと福祉をつなぐ人となる



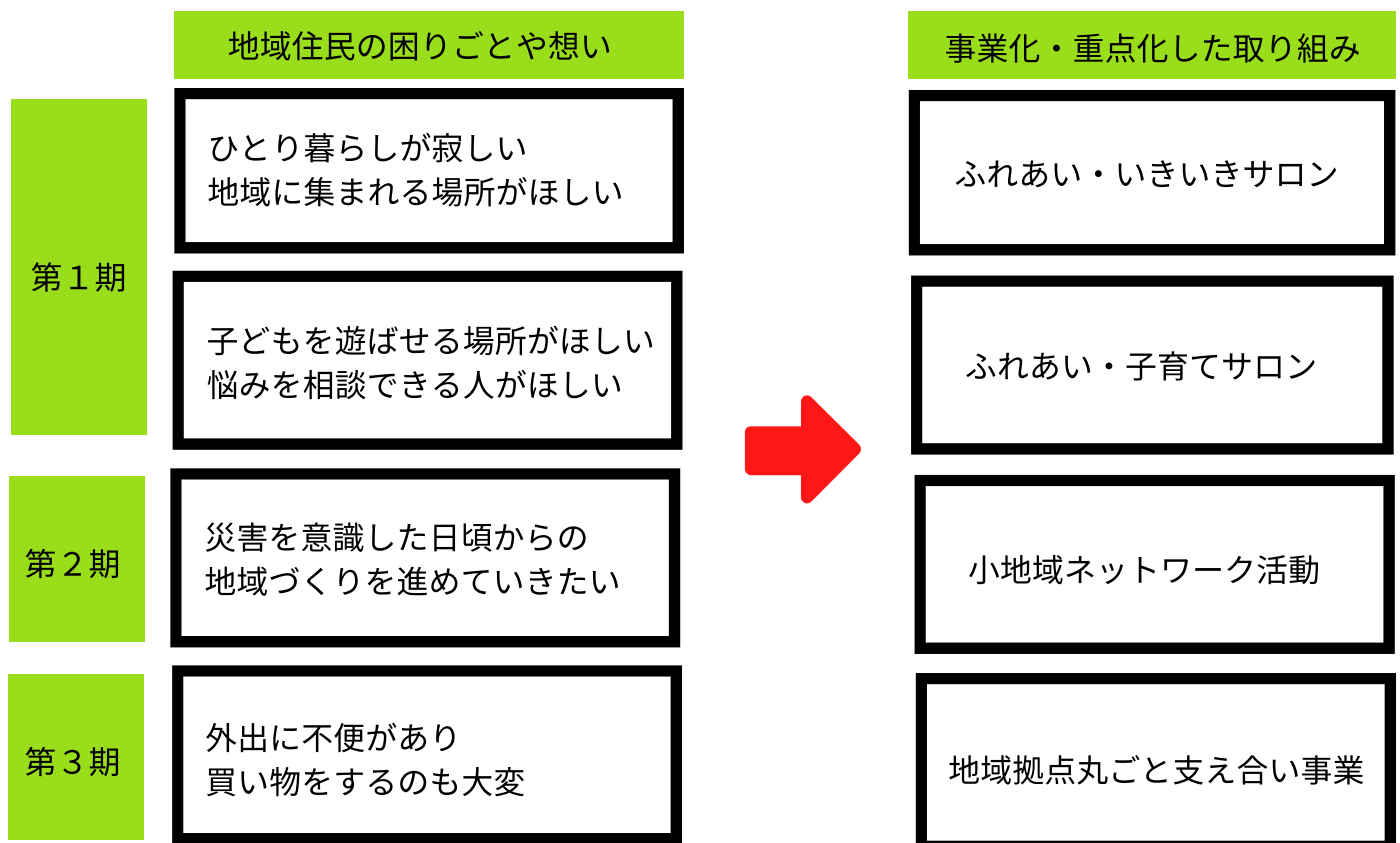
地域福祉活動に日頃から取り組む地域の方々と構成される「きずな推進委員会」と登別市協では、令和4年度からの5年間でこのまちの福祉をどのように進めていくかを具体的に定める「登別市地域福祉実践計画（愛称きずな計画）」を策定します。

平成18年から5か年を1期として取り組むきずな計画は、現在第3期の最終年度を迎え、次の第4期の策定期間です。本来であれば昨年度に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け今年度に延期となりました。

4月28日、各小学校区のきずな推進委員会のリーダー・サブリーダーが集まり第1回きずなリーダー会議を開催し、第4期計画の策定が始まりました。コロナ禍で委員や市民との意見交換などは難しい状況が想定されますが、アンケート調査の実施により皆さんの声を取り入れた策定を目指します。

多くの活動がきずな計画策定を機に誕生

計画策定はそのときどきの地域課題や皆さんの声を反映しながら、より暮らしやすいまちづくりを目指し進めていきます。そこから市民主体の事業としてかたちになった事例もあります。



Kizuna &

地域福祉活動のお悩みは社協まで



社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
 〒059-0016 登別市片倉町6丁目9-1
 総合福祉センターしんた21内
 TEL / 0143-88-0860
 web / <https://kizuna-shakyo.jp/>
 mail / info@kizuna-shakyo.jp